

広島県感染症発生動向月報

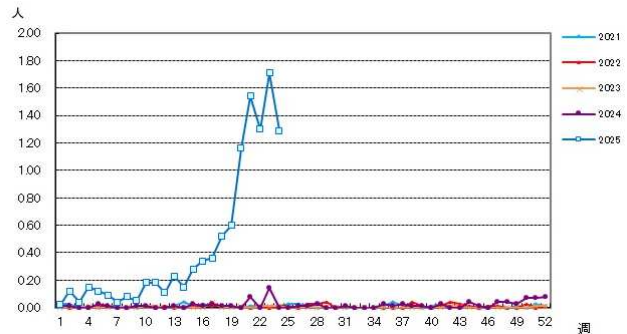
[広島県感染症予防研究調査会]

(令和7年6月解析分)

1 今月のトピックス

■ 伝染性紅斑の感染者数が増加しています！感染対策を徹底しましょう！！

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 が原因の感染症で、両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」とも呼ばれています。予防のため、手洗いやうがい等基本的な感染対策を行ってください。なお、妊婦が感染すると、まれに胎児の異常や流産を引き起こすため、注意が必要です。5月22日に「伝染性紅斑警報」を県内全域に発令し、一層の注意喚起を図っています。



広島県の発生状況 (定点当たり報告数)



広島県 感染症発生状況

検索



■ 話題の劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (いわゆる人食いバクテリア) について

・**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**は、急激かつ劇的な病状の進行を特徴とする致死率の高い感染症です。

・通常は、レンサ球菌に感染しても無症候のことも多く、ほとんどは咽頭炎や皮膚の感染症にとどまりますが、まれに通常は細菌が存在しない組織(血液や筋肉など)に菌が侵入することで、重篤な疾患となることがあります。

・主な病原体は**A群**溶血性レンサ球菌ですが、他に**B群**や**G群**などが原因となることもあります。

・子供から大人まで広範囲の年齢層に発症しますが、大人(特に**高齢者**)に多いのが特徴です。

・増加の理由は明らかになっていませんが、経年的な増加傾向に加え、新型コロナウイルス感染症の対策緩和以降、様々な呼吸器感染症が増加する中で、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の患者数が増加したことも一因と考えられます。

【症状】

・初期症状は、咽頭痛、発熱、消化管症状(食欲不振、吐き気、おう吐、下痢)、全身倦怠感、低血圧などの敗血症症状、筋痛などが見られます。

・発病から病状の進行が非常に急激かつ劇的で、発病後数十時間以内には筋肉周辺組織の壊死を起こすことや、血圧低下や多臓器不全からショック状態に陥り、発病後数十時間で死に至ることも少なくありません。

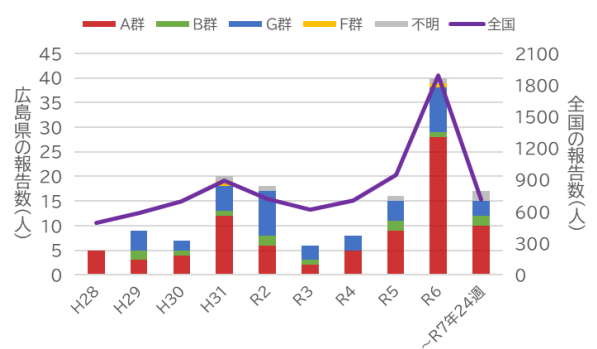
・四肢の疼痛、腫脹、発熱などの感染の兆候が見られる場合は、速やかに医療機関を受診してください。

【予防】

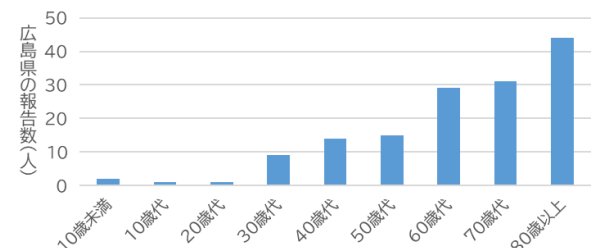
・飛沫感染や接触感染によって感染することから、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染予防により、原因となる溶血性レンサ球菌に感染しないことが重要です。

・手足の傷口から感染する場合があるため、傷口を汚い手で触らないなど、清潔に保つことが大切です。

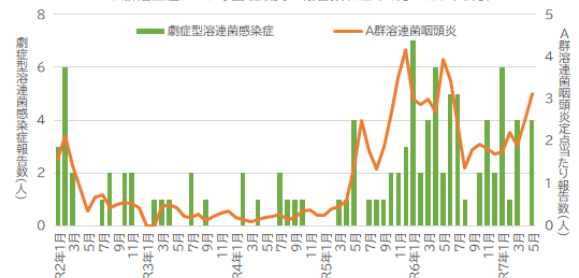
劇症型溶血性レンサ球菌感染症の年別発生状況



劇症型溶血性レンサ球菌感染症の年代別報告数 (H28～R7年週)



広島県における劇症型溶血性レンサ球菌感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数 (R2年1月～R7年5月)



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年 5月分(令和7年5月5日～令和7年6月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	19,720	52.73	-	↑	11	突発性発しん	60	0.26	0.29	↑
2	インフルエンザ ※3	184	0.49	0.49	↔	12	ヘルパンギーナ	4	0.02	0.16	↔
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	273	0.73	-	↔	13	流行性耳下腺炎	13	0.06	0.04	↑
4	RSウイルス感染症	50	0.22	1.10	↔	14	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.01	↔
5	咽頭結膜熱	151	0.66	0.51	↑	15	流行性角結膜炎	78	1.03	0.46	↑
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	718	3.12	1.26	↑	16	細菌性髄膜炎	2	0.03	0.01	↔
7	感染性胃腸炎	1,662	7.23	4.04	→	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	↔
8	水痘	27	0.12	0.10	↑	18	マイコプラズマ肺炎	37	0.46	0.04	↑
9	手足口病	25	0.11	0.39	↔	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	↔
10	伝染性紅斑	264	1.15	0.02	↑	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	22	0.28	0.02	↔

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性の症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年 4月分(4月1日～4月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	57	2.59	2.98	↔	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	74	3.70	3.06	→
22	性器ヘルペスウイルス感染症	18	0.82	0.89	↔	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.11	↔
23	尖圭コンジローマ	8	0.36	0.81	↔	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	↔
24	淋菌感染症	23	1.05	1.30	↔	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	咽頭結膜熱	{ 0.04 → 0.66 }
	水痘	{ 0.08 → 0.12 }
○急減疾患	伝染性紅斑	{ 0.38 → 1.15 }
	なし	

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↔	↔	1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内154の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	36	57	19	22	20	154

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)〔西部保健所(3)、西部東保健所(3)、東部保健所(4)、広島市保健所(10)、呉市保健所(3)、福山市保健所(6)〕
三類	9	腸管出血性大腸菌感染症(9)〔西部保健所(2)、広島市保健所(7)〕
四類	27	A型肝炎(2)〔東部保健所(1)、広島市保健所(1)〕 レジオネラ症(6)〔西部保健所(2)、西部東保健所(1)、広島市保健所(3)〕 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)〔東部保健所(1)〕 日本紅斑熱(18)〔西部保健所(1)、西部東保健所(2)、東部保健所(6)、北部保健所(1)、広島市保健所(2)、呉市保健所(2)、福山市保健所(4)〕
五類	382	ウイルス性肝炎(4)〔西部保健所(2)、広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(4)〔広島市保健所(3)、福山市保健所(1)〕 侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(6)〔広島市保健所(3)、呉市保健所(1)、福山市保健所(2)〕 水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕 播種性クリプトコックス症(1)〔東部保健所(1)〕 破傷風(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(27)〔東部保健所(2)、広島市保健所(16)、呉市保健所(1)、福山市保健所(8)〕 百日咳(337)〔西部保健所(59)、西部東保健所(53)、東部保健所(38)、北部保健所(1)、広島市保健所(147)、呉市保健所(20)、福山市保健所(19)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2025年6月30日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	27	32	25	22	29								135
	小 計	27	32	25	22	29	0	0	0	0	0	0	0	135
三類	コレラ	0	3	0	0	0								3
	細菌性赤痢	0	0	1	0	0								1
	腸管出血性大腸菌感染症	3	4	4	2	9								22
	腸チフス	0	0	0	0	0								0
	パラチフス	0	0	0	0	0								0
	小 計	3	7	5	2	9	0	0	0	0	0	0	0	26
四類	E型肝炎	1	0	1	1	0								3
	A型肝炎	0	1	2	1	2								6
	エムボックス	0	0	0	0	0								0
	つつが虫病	0	0	0	1	0								1
	デング熱	1	1	1	0	0								3
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	1								1
	日本紅斑熱	0	0	0	0	18								18
	日本脳炎	0	0	0	0	0								0
	マラリア	0	0	0	0	0								0
	レジオネラ症	6	2	5	3	7								23
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0								0
	小 計	8	4	9	6	28	0	0	0	0	0	0	0	55
五類全数	アメーバ赤痢	0	1	2	0	0								3
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0	0	0	1	4								5
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	5	3	1	0								14
	急性弛緩性麻痺	0	1	0	0	0								1
	急性脳炎	6	0	2	2	0								10
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	1	0								2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	1	4	0	4								15
	後天性免疫不全症候群	0	2	1	1	0								4
	ジアルジア症	0	0	0	0	0								0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	1	1	1								8
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	0	0	0								1
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	4	6	7	6								31
	水痘(入院例)	0	1	0	1	1								3
	破傷風	0	0	1	0	1								2
	梅毒	22	17	17	20	27								103
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	1	0	0								1
	百日咳	15	11	35	198	337								596
	風しん	0	0	0	0	0								0
	播種性クリプトコックス症	1	0	0	0	1								2
	麻しん	0	0	0	0	0								0
	小 計	68	45	73	233	382	0	0	0	0	0	0	0	801
合 計		106	88	112	263	448	0	0	0	0	0	0	0	1017

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類：	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類：	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類：	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類：	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数：	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和7年5月1日～6月19日

資料作成：令和7年6月20日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
240	284	172	103	9

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
ダニ類媒介感染症疑い	日本紅斑熱リケッチア	4	5	血液, 痂皮	R7. 5月～6月	60代～90代	西部, 福山市, 呉市
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチア	15	23	血液, 痂皮, 皮膚組織	R7. 5月～6月	50代, 70代～90代	西部東, 東部, 福山市, 呉市
	紅斑熱群リケッチア(<i>Rickettsia</i> sp. LON) ※	1	1	皮膚組織	R7. 5月	60代	北部
SFTS疑い	SFTSウイルス	1	1	血液	R7. 5月	60代	東部
	日本紅斑熱リケッチア	1	1	血液	R7. 5月	50代	西部東
A型肝炎(国外輸入症例)	A型肝炎ウイルス 1A型	1	2	血清, 便	R7. 5月	20代	東部
エムボックス疑い	水痘帯状疱疹ウイルス	1	2	皮膚病巣	R7. 6月	30代	北部

※ この患者の血液は陰性、皮膚からのみの検出であった。

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況(別紙)

4 五類感染症からの検出状況(急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む)

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
麻疹(小児)疑い	ヒトヘルペスウイルス6型	1	2	血液, 咽頭	R7. 6月	9カ月	呉市
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	6	6	鼻咽頭, 咽頭	R7. 5月～6月	0～63	西部東, 東部
インフルエンザ	B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)	7	7	鼻咽頭, 咽頭	R7. 5月～6月	12～14	西部東, 東部
感染性胃腸炎	ノロウイルスGⅡ. 4 Sydney+アデノウイルスNT	1	1	便	R7. 5月	1	西部東
	サボウイルスGⅡ. 3	1	1	便	R7. 5月	1	西部東
	A群ロタウイルス	1	1	便	R7. 5月	1	西部東
咽頭結膜熱	アデノウイルスNT	2	2	咽頭	R7. 5月～6月	3	西部東
	アデノウイルス2型	1	1	咽頭	R7. 5月	1	西部東
	アデノウイルス2型+パラインフルエンザウイルス3型	1	1	鼻咽頭	R7. 5月	1	西部東
	アデノウイルス5型	1	1	咽頭	R7. 5月	1	西部東
	アデノウイルス7型	2	2	鼻咽頭, 咽頭	R7. 6月	4, 6	西部東
伝染性紅斑	バルボウイルスB19	2	2	咽頭	R7. 5月	2, 6	東部
RSウイルス感染症	RSウイルス A型	1	1	鼻咽頭	R7. 5月	0	西部東
	RSウイルス B型	1	1	鼻咽頭	R7. 5月	2	西部東
無菌性髄膜炎	エコーウイルス11型	1	3	咽頭, 髄液, 便	R7. 5月	1カ月	東部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

6 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和7年5月1日～令和7年6月19日）

保健所地区	検体数	疾 患 名 （検体数）
西部	1	ダニ類媒介感染症疑い(1)
西部(広島)	31	ダニ類媒介感染症疑い(1), 急性呼吸器感染症 (ARI) (30)
西部(呉)	0	
西部東	91	ダニ類媒介感染症疑い(6), 麻しん(成人)疑い(4), 麻しん(小児)疑い(3), 急性呼吸器感染症 (ARI) (70), 感染性胃腸炎(8)
東部	88	ダニ類媒介感染症疑い(40), A型肝炎(2), 急性脳炎(3), 急性呼吸器感染症 (ARI) (35), 新型コロナウイルス感染症(4), 無菌性髄膜炎(3), その他(1)
東部(福山)	40	ダニ類媒介感染症疑い(8), デング熱疑い(2), 急性呼吸器感染症 (ARI) (30)
北部	6	ダニ類媒介感染症疑い(4), エムボックス疑い(2)
福山市	17	ダニ類媒介感染症疑い(17)
呉市	10	ダニ類媒介感染症疑い(8), 麻しん(成人)疑い(2)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス (2025年5月上旬～6月下旬)

報告週	第19週	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週
	5/5～5/11	5/12～5/18	5/19～5/25	5/26～6/1	6/2～6/8	6/9～6/15
検査患者数	25	25	25	23	32	24
陽性患者数	18	20	18	20	27	16
AH1pdm09型インフルエンザウイルス						
AH3型インフルエンザウイルス						
B型インフルエンザウイルス(ヒトH7系統)		1			3	3
B型インフルエンザウイルス(山形系統)						
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)		1		1	1	
RSウイルス A型				1		
RSウイルス B型		1		1		2
パラインフルエンザウイルス1型						
パラインフルエンザウイルス2型						
パラインフルエンザウイルス3型	7	2	13	11	12	3
パラインフルエンザウイルス4型			1	1	1	1
ライノウイルス/エンテロウイルス		1			2	1
ライノウイルス	8	9	8	6	4	6
エンテロウイルスNT		1				
エコーウイルス11型	1					
メタニューモウイルス	2	2			1	
アデノウイルスNT		2	1	2	3	3
アデノウイルス1型		1				
アデノウイルス2型		2				
アデノウイルス5型	1					
アデノウイルス7型					2	
ヒトコロナウイルスHKU1						
ヒトコロナウイルスNL63	1					
ヒトコロナウイルス229E						
ヒトコロナウイルスOC43			1			
パルボウイルスB19		1	1		1	

1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。